

# 多様性を包摂する「未来の学校」プロジェクト

～特別支援教育・発達心理学・住居学からの学際的アプローチ～

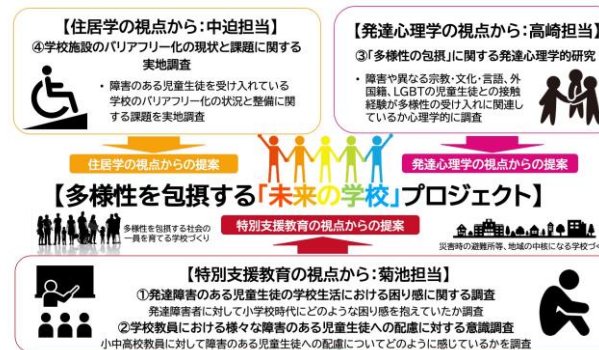
教育学研究科 菊池 哲平  
所属・氏名 人文・社会科学部 高崎 文子  
教育学研究科 中迫 由実

## 目的とするSDGsゴール



## 1. 研究の概要

全ての子どもが安心して学校で過ごすことが可能な「未来の学校」を創出するために、①発達障害者が感じていた学校生活における困り感の調査、②学校教員における様々な障害のある児童生徒への配慮に対する意識調査、③健常者における「多様性の包摂」に関する発達心理学的研究、④学校施設のバリアフリー化の現状と課題に関する実地調査、を行った。



## 2. 研究の目的

多様性のある子どもを包摂する「未来の学校」を構築するために、特別支援教育の視点から障害児や外国籍児童などの多様な子ども達もつニーズを調査すると共に、子どもの心理的成長という発達心理学的観点及び学校施設環境という住居学的観点から、学校現場の取組や施設環境の実態調査を行う。

## 3. 今年度実施した研究

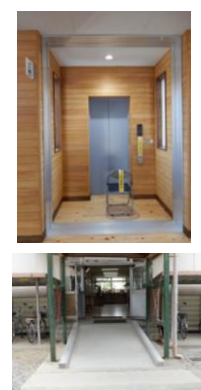
### ・本年度中の研究の取組

<b>①発達障害者が感じていた学校生活における困り感の調査</b> <ul style="list-style-type: none"><li>一般大学生300名と発達障害のある大学生39名を対象</li><li>小学校時代の学校生活での困り感の有無を場面ごとに質問</li><li>発達障害児は様々な学校生活場面、特に「遠足」や「運動会」などの行事場面で強い困り感を抱えていた</li><li>発達障害児はいじめの被害者になった経験が高かった</li></ul>	<b>②学校教員における様々な障害のある児童生徒への配慮に対する意識調査</b> <ul style="list-style-type: none"><li>小中高等学校教員300名を対象に調査</li><li>「障害者権利条約」や「合理的配慮」「インクルーシブ教育」等の用語に対する理解度や具体的な支援・配慮の例に対して実施するかどうかを質問</li><li>各種の支援・配慮は小&gt;中&gt;高、公立&gt;私立の順に積極的に提供するという意識が高かった</li></ul>	<b>③健常者における「多様性の包摂」に関する発達心理学的研究</b> <ul style="list-style-type: none"><li>大学生144名を対象に調査</li><li>発達障害の特性や言語・宗教・文化・国籍及びジェンダー多様性に対する接触経験、情報への接触及び周囲の受容状況について質問</li><li>仲の良い友達として多くの多様な属性と接した経験があると、多様性の受容が高まっていた</li></ul>	<b>④学校施設のバリアフリー化の現状と課題に関する実地調査</b> <ul style="list-style-type: none"><li>バリアフリー化を進めている学校施設6校へ現地視察(写真)</li><li>教育委員会学校施設課への聞き取り調査</li><li>バリアフリー化により対象児童生徒以外にも保護者や備品運搬等でメリットがあることが示唆された</li><li>一方で改修にかかる予算確保、工事の実施時期が課題</li></ul>
--	---	---	---

### ・上記の取組によって生まれた成果 (SDGs達成へどのように貢献するのか)

本年度中に行った4つの研究調査により、以下の点が示唆された

発達障害児は授業以外の学校生活の様々な場面で困難を感じやすく、いじめの対象にもなりやすい	学校教員の積極的な配慮や支援に対する意識にはかなり教員間格差がある	多様な他者と深いレベルで接触する経験があることが多様性の受容につながる	学校施設のバリアフリー化は在籍障害児以外にもメリットがある
--	-----------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------



これらより、**多様性を包摂する「未来の学校」を創出することの意義及び課題が整理**され、実現のためのメリットと具体的取り組みについての展望が明らかになった

### ・今後の展望

- 以下の観点から「未来の学校」を創出するための具体的方策を提案するための取り組みを加速していく
- (1) 特別なニーズのある児童生徒を含めた全ての児童生徒に有益な学校教育のユニバーサルデザイン化について具体的なポイントを整理すること
  - (2) 子どもたちのD&I (ダイバーシティ&インクルージョン) 意識を向上させる具体的取り組みの効果検証
  - (3) 学校が避難所等の地域社会の中核として機能するための施設整備条件や課題等について整理